

南アルプス市立白根巨摩中学校 学校関係者評価書（後期）

白根巨摩中学校 学校関係者評価委員会	令和5年1月23日作成
第2回学校関係者評価委員会	
実施日 令和5年1月20日（金） 午後5時30分～	
会 場 白根巨摩中学校 図書室	
参加者 学校関係者評価委員 5名	
久保田 直美 飯田 照男 芦澤 秀幸 進藤 明子（欠席） 飯嶋 久	
学校関係者 4名	
浅利 司 （校長） 中込 幸人（教務主任） 内藤 大輔（教頭） 石川 孝之（生徒指導主事）	
1 学校側から提案された内容	
（1）生徒アンケート結果について （2）保護者アンケート結果について （3）2学期の自己評価結果について （4）生徒の生活について	
2 評価されたおもな内容	
領域別・評価項目別の自己評価考察および意見交換	
学校関係者評価	
1 全体評価と学校運営	
・後期の教職員によるアンケート結果は前期と同じ平均4.5となった。目標の指標とした平均4.5を達成することができた。生徒アンケート、保護者アンケートの得点についてもほとんどの項目において、指標とする平均4.0を上回っている。これらの結果から、学校運営は良好に行われていると考えられる。今後も、領域ごとに分析検討を進め、生徒が安心して教育活動を行い、その資質を向上できるよう努力していく必要がある。 ・新型コロナウイルス感染症の対策を取りながら、本年度は、ほとんどの行事や教育活動を中止することなく行うことができた。生徒や教職員からも行事に対しての充実感が伺える結果となっている。今後も感染症への対応が必要となってくるので、生徒や教職員の健康安全を第一に考えながら、白根巨摩中学校の伝統を引き継ぐ、充実感の得られる取組を実施してほしい。 ・本校の教育活動に対して肯定的に捉えていることが生徒や保護者のアンケートから伺える。学校の垣根をさらに低くし、地域・保護者とのコミュニケーション・連携を深めながら、地域全体で子供を育てる意識を高めてほしい。 ・1年生に入学した生徒も、2・3年生の先輩をみながら学び、徐々に落ち着いてくる。そんな伝統が白根巨摩中学校にはある。小中一貫教育も見据えながら、9年間連続した教育の推進をお願いしたい。	

2 自己評価書に見る課題と対応について

○ 教科指導

- ・1人1台パソコンの活用について、欠席生徒とのリモート授業はかなり進んだと考えられるが、各アンケートの結果は低くなっている。教科によって、ICTの活用方法が変わってくるとは思うが、広く活用事例に学び、教職員の研修を進めていってほしい。
- ・基礎学力定着について保護者は不安をもっていることが伺える。現在の放課後学習である補充発展の時間を活用しつつ、家庭学習も含めて計画づくりが必要である。今行っている週末課題であるタイアップチャレンジの取組も今後も継続して行っていってほしい。
- ・市の指定研究である公開研究会を行い、教職員の授業改善、授業づくりへの意欲が感じられる。市の指定は終わるが、研究の成果を活かし、来年度以降も生徒の学力向上をお願いしたい。

○ 生徒指導

- ・白根巨摩中学校の生徒が落ち着いて学校生活を送っていることがわかる。生徒や家庭とのコミュニケーションを大切に1人ひとりに寄り添った対応をしてほしい。
- ・いじめや不登校について、アンケートを取り会議を行いながら、実態を把握しチームで取り組んでいることがわかる。今後も対応を重ねながら「学校が楽しい」といえる生徒を一人でも増やしていってほしい。
- ・白根巨摩中学校の生徒はネットの利用時間が多い。睡眠時間、学習時間を削っているようなら困る。ネット利用方法に関して生徒への指導も必要だが、家庭への啓発も必要。
- ・スクールカウンセラーやスクールサポーター、スクールソーシャルワーカー等多くの関係機関と連携し、児童虐待、ヤングケアラー等、家庭環境への問題について対応してほしい。生徒、家庭を取り巻く環境に留意しながら、生徒の自己肯定感が育つように支援をしてほしい。

○ 特別活動

- ・学園祭や合唱発表会等、生徒アンケートの行事に係る得点が高い。生徒が意欲的に学校行事に取り組むことが、学校生活全体のよい雰囲気をつくりだしている。
- ・小中交流の合唱に参加し、小中お互いがよい影響を与え合っているところを参観した。コロナ禍で学校行事の例年通りの実施は難しくなっているが、白根巨摩中学校の伝統である合唱活動を含めて、安全に配慮しながら生徒のために計画・実施をしていってほしい。
- ・部活動については、専門でない種目となったり、土日の出勤が増えたりして大変である。部活動土日地域移行の制度も進む中、今後の進捗の状況も踏まえ、複数配置で互いにフォローできる体制を整えながら、働き方改革につなげてほしい。

○ 信頼される学校

- ・保護者アンケート等でも教職員の相談しやすさがあげられており、また感染症対策を含め、安全指導等についても評価が高い。家庭や地域の方々に温かく見守っていただける環境が整っていて、学校と生徒・保護者の関係について良好であることが伺える。学校のお便り等を使いながらさらに「学校の情報」を発信する努力をお願いしたい。
- ・小中一貫教育が動き始めている。義務教育9年間を見通し、進級時のギャップを軽減する等、子どもたちが個性を生かした力が発揮できる環境を整えてほしい。今後も地域・保護者と連携・協力を密にし、子どもを伸ばす教育を推進していってほしい。

3 特記事項

なし

記載責任者

教頭 内藤 大輔

白根巨摩中学校 学校関係者評価委員 委員長 芦澤 秀幸

副委員長 進藤 明子